

購読の申し込みは
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)

送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866

ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

第1858号 2025年9月11日

編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日)
(第三種郵便物認可)



熊本・署名に協力してくれる街の人

各地でスタート

夜勤改善・大幅増員をアピール

2025年秋のちまもるキャラバン行動

2025年秋・もう限界のケア労働者の大幅賃上げといのちまもるキャラバン行動がスタートしました。9月6日～7日のスタート行動日を中心に、各地で宣伝行動が行われましたので、一部をご紹介します。

徳島

徳島県医労連は8月12日、徳島市で開催される阿波踊りの開幕日に新署名「夜勤規制と大幅増員署名」「新介護署名」のスタート宣伝行動を、徳島市立体育館前で行いました。宣伝途中に大雨に見舞われて一時中断しましたが、参加者5人で30ほどの宣伝行動で夜勤規制署名15筆、新介護署名14筆が集まりました。署名中の対話では「私も介護職なので応援しています」「妻が看護師です。署名させてください」と声をかけられ、



徳島・阿波踊りの参加者（中央）とともに

徳島

駆け寄ってきた若い保育士2人からも「がんばって」とエールがありました。大雨時には阿波踊りの警備デモンストレーションに入らせてもらい、「私も警備員の前は介護タクシーをやっていた。低賃金であきらめた。大事な仕事やから頑張ってください」と、テントの中で対話しながら署名への協

熊本

熊本県医労連は、9月6日に開催した定期大会をスタート集会に位置づけました。定期大会終了後は熊本市内のアーケード商店街で、宣伝行動を実施。11人が参加した宣伝行動では、30分間で署名を48筆集めました。

富山

富山県医労連は9月6日の定期大会後に富山駅前で、16人でシール投票を行いながら署名を集めました。

福岡

福岡県医労連は9月6日、



富山・シール投票の様子

北海道

定期大会後に博多駅前で行った行動を行いました。大会参加者を中心に約40人が参加し、秋のキャラバン行動をスタートさせました。

北海道医労連は9月6日の定期大会1日目の休会后、会場近くの駅前で署名宣伝行動に取り組みました。行動には約50人が参加し、30分間で38

長野

長野県は8月30日に、第39回長野県医療研究集会を開催し、集会後に80人の参加で、松本駅前2025いのちまもる長野県キャラバン行動の幕開けとなる、署名・宣伝行動を行いました。現場の人員不足やこの間賃金が上がっていないこと、報酬が低くて経営状態が悪く、このままでは病院がなくなってしまうかもしれないことなどを訴えながら、「夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実



長野・行動参加者



北海道・行動参加者

和歌山

和歌山県医労連は9月6日の定期大会後に、JR和歌山駅前で行った宣伝行動を実施しました。行動には24人が参加し、現場の様子を訴えながら署名を27筆集めました。



和歌山・行動の様子

大分

大分県医労連は9月7日の定期大会終了後、大会会場近くの交差点でスタンディングをしました。炎天下のもと、看護師増やせのセッセンや、看護師増やせのセッセンや「笑顔の看護・介護がしたいだから大幅賃上げ」の横断幕、



大分・交差点でスタンディングの様子

宮城

宮城県医労連は、8月30日に定期大会を開催し、大会終了後にキャラバンスタート行動を実施しました。街頭で行った署名宣伝行動には22人が参加し、30分間の行動で51筆の署名を集めることができました。



宮城・行動参加者

脈路

出身組織の定期大会で新しい組合が仲間に加わった。小さなクリニックの職員でつくる組合だ▼一人の職員に対し「副業をしている」「職場のコロナ検査キットを勝手に使用した」「勤務中に酒の匂いがしている」など、身に覚えのないことを医院側が持ち出し、退職勧奨を行ったことから事態は始まった。その直後より「アルコールチェック規定」「監視カメラ」を診察や至る所に設置するなど、当該組合員への嫌がらせが始まったため団体交渉に向けた準備をはじめた▼その矢先、今度は別のパート職員に対し、挨拶等が十分なされていない事を理由に、雇止め通知が行われた。これにより他の職員の怒りが爆発、職員5人が医労連に相談、労働組合を結成して不合理な職場環境を是正する必要があることを確認し、組合は、わずか4日後に結成され、組合員は7人で過半数組合となった。現在、団体交渉を重ね、職場環境の改善に向けて奮闘している▼最後に大会での当該労働委員長が発言を紹介する「これまで、理不尽と思ったことに職員が一人で声を上げて使用者の意見が、あたかも正論のように全て進んでいきましたが、今回の組合による団体交渉という場を通して、労働者の意見を明確にすることが、どれほど重要かと痛感しました」本気でたたかいはじめたこの思いは、大会参加者の胸に大きく響いた。



集では、まず介護保険制度をめぐる情勢について学習しました。続いて事業者、労働者、利用者の立場から報告を受け、最後に行動提起がされました。

政府は、この秋から年末にかけて制度改悪の方針を固めようとしています。そうした動きに歯止めをかけながら、国の経済対策で、訪問介護の基本報酬引き下げ撤回や、報

酬引き下げの影響を受けた2024年4月以降の事業所の減収分の補填、事業者・従事者に対する緊急支援の実施などを強く求めていく必要がある。また、再来年の改定を待たず、来年4月の介護報酬期中改定をめざし、予算積み上げを要求することも、これからの大きな課題の一つです。

介護の運動は、2022年

く問題は一向に改善せず、制度改悪の流れが再度浮上しています。集会では、再び運動の共同を広げ、改悪の流れを止めようと、意思統一がされました。

新介護署名の第一次提出行動は11月20日です。この秋の集約目標は25万筆で、年間目標は50万筆です。署名を大いに呼びかけ、介護改善の運動をすすめていきましよう。

制度改悪を阻止する運動をふたたび

新介護署名総決起

9月1日に開催された新介護署名総決起WEB集会には560人が参加し、日本医労連からも多数参加がありました。

新介護署名総決起WEB集会

WEB集会

ケア労働者の **国民春闘共闘・全労連**
大幅賃上げアクション
9.3スタート集会



▲佐々木悦子中央執行委員長が団結ガンバローで鼓舞
医療労働会館にて

国民春闘共闘・全労連は、9月3日に「すべてのケア労働者の大幅賃上げを」をスローガンに、完全オンラインのスタート集会を開催。全国から200人が参加しました。

集會は、秋山正臣国民春闘

さらに、過去20年の賃金センサスをもとにしたグラフを示し、約四半世紀にわたって賃金が上がっていないことを指摘しました。

また、日本医労連の「看護職員の入退職に関する実態調査」の結果や看護学校の入学者数減少の現状についても触れ、地域医療が成り立たなくなれば、国民が医療・介護を受けられなくなる、と警鐘を鳴らしました。

賃金要求は労使で一致している

他産業との格差拡大
とりわけ一時金で
渡辺勇仁日本医労連中央副

賃上げを求める声は、労働組合だけでなく、経営側の団体や職能団体からも続々とあがっています。渡辺副委員長

- 介護のたたかい3本柱
- ①介護報酬引き上げの期中改定
(2027年の介護報酬改定を待た
大幅引き上げを)
- ②抜本的な介護人材の確保
(深刻な介護人材不足、月額8：3
職員の給与改善)
- ③介護3大改悪の阻止
(2割負担対象拡大、ケアプラン有
・2保険外し)
- 介護 秋の行動6つの柱
- ①請願行動に集中する
- ②大規模宣伝に打って出る
- ③厚労省(審議会)を包囲する
- ④自治体の独自支援を求める
- ⑤学びを力に学習運動の強化
- ⑥介護改善運動の共同を広げる

へ、介護報酬の
円も低い介護
化、要介護1

[illegible]

▲団体署名（発020号）

2024年の診療報酬・介護報酬改定では、「ベースアップ評価料」や「新介護加算」が盛り込まれましたが、効果は限定的で、実質的には賃上げにつながっていません。日本医労連ではこの秋、来年春の診療報酬改定と介護報酬の期中改定を見据え、団体署名と一言カードの取り組みを各加盟組織へ呼びかけます。

報酬10%引き上げの根拠

全産業平均との賃金格差を埋め、物価高騰を上回るには、月額5万円以上の賃上げが必要です。原資となる報酬の引き上げを求めることも不可欠で、日本医労連は引き上げ率として10%を提起しました。

これは、24年診療報酬改定に盛り込まれた「ペーパー評価料」で国が示した「2・3%の賃上げの原資に必要な診療報酬引き上げ率」の0・61%をもとに、月額5万円の賃上げに

団体署名は、3,000の集約をめざして、11月の中央行動で省庁へ提出します。一言カードは政府の審議会等への提出を予定しています。

なお、団体署名については25春闘でのストライキ決議の取り組みと同様に、地図上にマッピングして可視化し、世論喚起をめざします。地域の

織事業所や他産別、地域の団体へも広く呼びかけましよう。

【集約】

第一次集約…9月末
第二次集約…10月末
最終集約…11月末

※11月の中央行動で提出するため、第二次集約までに最大限の取り組みをお願いします。

秋闘の取り組み

は、「實上は要求に關しては労働使とも一致している。労働組合の力が試される取り組みになる」として、9・25のちまもる国民集会への参加と団体署名への協力を呼びかけるとともに、日本医労連が先頭に立ち、産業の垣根を超えて運動を進める決意を表明しました。

7 団体が決意表明

福祉保育労、自治労連、全労連・全国一般、生協労連、建交労、東京地評からも決意表明があり、現場の抱える問題や大幅賃上げに向けた取り組みが報告されました。最後に、佐々木悦子全労連副議長・日本医労連中央執行委員長による団結カンパニーで集会が締めくくられました。

この特別行動を通じて、ケア労働者の現状を広く社会に訴え、世論を形成し、大幅賃上げを実現しましょう。

10月の集会スケジュール

- 1日 秋闘意思統一書記長会議
(発028号)
- 5日 精神部会オンライン学習会
(発第017号)
- 5～6日 自治体・公立病院労組全国交流
集会 (発第007号)
- 5～6日 一般病院部会 (民間病院) 労組
全国交流集会 (発第009号)
- 11～13日 全労連・労働運動全国交流集会
(レバカレ2025)
(2024年度発195号)
- 19～20日 共済推進全国交流集会
(発013号)
- 25～26日 2025年平和大会 in 愛知
(発027号)
- 29～30日 民医連・生協労組全国交流集会
(発031号)

[illegible]

▲一言カード (発020号)

最賃

全国1000円突破も 目標には遠い引き上げ

中央最低賃金審議会(以下、中賃)は、最低賃金引き上げの目安を議論する小委員会を経て、8月4日に今年地域別最低賃金改定額をA・Bランク63円、Cランク64円とする目安を公表しました。中賃の目安額を踏まえながら地域別最低賃金の引き上げ額をめぐる議論が各地で行われ、9月4日に全都道府県の改定額が出揃いました。

目安額を上回る改定相次ぐ

2025年の地域別最低賃金の改定額は、全ての都道府

発効日の遅れ 法の趣旨逸脱との指摘も

今回新たな最低賃金額の発効日が11月以降となった地域は、27県にものぼります。例年以上に審議を重ね、目安を上回る答申を出した地方が8月発効は法の趣旨を逸脱して

また翌年3月発効となった秋田・群馬の姿勢に対して、岩手の審議会では、公益委員で専門部会長の近藤信一氏(岩手県立大学教授)が、「3月発効は法の趣旨を逸脱して

最低賃金は全国一律、大幅な引き上げを

政府は、2020年代に最低賃金を全国平均1500円とする目標を掲げていますが、物価上昇が続く今、このようなペースでは、生活改善には繋がりません。また人口流出などの要因ともなっているなら一日も早く発効するのが当然」と批判の声をあげています。一方で、岩手の発効日を大幅な引き上げであり、準備期間として後倒しした」として12月1日発効を容認しています。

翌年3月発効となった秋田・群馬では、発効日の遅れに対して、各県労連を中心に緊急の団体署名や県知事への要請を行い、改善を求めて声をあげています。

原発事故を風化させない 原発事故から14年 福島のみま



福島県医労連 佐藤啓子書記長

いま、政府のエネルギー基本計画や美浜原発の新增設の動きなど、原発回帰の動きが強まっています。来年で原発事故から15年です。福島県の現状を福島県医労連佐藤啓子書記長にお聞きしました。

遠い廃炉

福島第一原発事故後、放射性物質を含んだ除染土は福島県内の中間貯蔵施設におよそ東京ドーム11杯分あります。その除染土は、「2045年までに福島県外で最終処分する」と法律で定められていることをご存じでしょうか。国は除染土の量を減らすため、全国の公共事業などに、除染土を再利用する方針を示しています。

リスクを抱える 海洋放出

ALPS処理水の海洋放出強行から2年が経過しました。ふくしま復興共同センターは、日々の新たな汚染水の発生を抑えることが必要だと強く訴えています。また、汚染水を処理する過程で発生する高濃度の放射性物質を含む汚泥(スラリ)の保管や、処分が予定通りにすすんでいない問題も明らかになっています。

再認識された 原発リスク

地震大国の日本で安全な原発はないことが、能登半島地震で再認識されました。原発事故は避難を余儀なくし、家族やコミュニティを分断し、生業や雇用、教育や地域の文化などを奪います。さらに政府の支援は多様な被災者に寄り添ったものではないことも問題です。こういった甚大な被害を及ぼす原発事故を二度と繰り返さないためには、原発ゼロしかないのです。

復興の名で進む 大型事業

国は、復興機関に予算を割り当てますが、その中身は軍事産業に利用されかねないイノベーションコースト構想や福島国際研究教育機構(ロボットやドローンの開発)などの大型事業予算が中心です。これは地域住民が望む復興なのでしょうか。

原発事故を 風化させない

このように14年経っても多くのことについて見通しが立

2025年 地域別最低賃金の改定状況									
ランク	都道府県	答申額	目安比	答申発効日	ランク	都道府県	答申額	目安比	答申発効日
B	北海道	1075	2	10/4	B	滋賀	1080	0	10/5
C	青森	1029	12	11/21	B	京都	1122	1	11/21
C	岩手	1031	15	12/1	A	大阪	1177	0	10/16
B	宮城	1038	2	10/4	B	兵庫	1116	1	10/4
C	秋田	1031	16	3/31	B	奈良	1051	2	11/16
C	山形	1032	13	12/23	B	和歌山	1045	2	11/1
B	福島	1033	15	1/1	C	鳥取	1030	9	10/4
B	茨城	1074	6	10/12	B	島根	1033	8	11/17
B	栃木	1068	1	10/1	B	岡山	1047	2	12/1
B	群馬	1063	15	3/1	B	広島	1085	2	11/1
A	埼玉	1141	0	11/1	B	山口	1043	1	10/16
A	千葉	1140	1	10/3	B	徳島	1046	3	1/1
A	東京	1226	0	10/3	B	香川	1036	3	10/18
A	神奈川	1225	0	10/4	B	愛媛	1033	14	12/1
B	新潟	1050	2	10/2	C	高知	1023	7	12/1
B	山梨	1052	1	12/1	B	福岡	1057	2	11/16
B	長野	1061	0	10/3	C	佐賀	1030	10	11/21
B	富山	1062	1	10/12	C	長崎	1031	14	12/1
B	石川	1054	7	10/8	C	熊本	1034	18	1/1
B	福井	1053	6	10/8	C	大分	1035	17	1/1
B	岐阜	1065	1	10/18	C	宮崎	1023	7	11/16
B	静岡	1097	0	11/1	C	鹿児島	1026	9	11/1
A	愛知	1140	0	10/18	C	沖縄	1023	7	12/1
B	三重	1087	1	11/21					

最後の日比谷野音へ

9・25いのちまもる総行動



24年いのちまもる総行動の様子

物価高騰が続く中、ケア労働者の賃上げは他産業に追いつかず、軍事費拡大の一方、社会保障は切り下げられるなど、私たちのいのちと暮らしは危機にさらされています。国は必要な支援・対策を行わず、医療・介護・福祉の現場は低賃金や深刻な人手不足に苦しみ、危機的な状況が続いています。「もう限界」は、医療崩壊の危機に直面した、私たちの切実な声です。医療・介護・福祉で働く私たちのいのちと暮らしを守り、社会保障を拡充させ、平和な社会を実現するため、今年も「もう限界」平和と社会保障を立て直せ! 9・25いのちまもる総行動」と題して日比谷野外音楽堂(以下、日比谷野音)での集いが開催されます。長年、私たちの声を結集する拠点となってきた現在の日比谷野音での開催は、施設老朽化に伴う再整備工事のため、今回が最後となります。時代を超えて私たちの運動を支えてきた日比谷野音に集まり、大きく声をあげましょう。

当日はYouTube(左記のQR参照)でのライブ配信も行います。職場や自宅、全国どこからでも思いを共有できます。先の参議院選挙で衆参とも与党過半数割れとなった今こそ、私たちの訴えが社会や政治を動かす大きな力になります。日比谷野音で一緒に声をあげましょう。



原発事故を 風化させない

来年は原発事故から15年の節目となります。来年福島で予定される大集会の成功に向け、全国の皆さんと連帯し、「原発なくせ!」「再生可能エネルギーへの転換」の世論と運動に取り組んでいきたいと思ひます。

